

〔記入例〕

様式第 12 号の 2 (第 30 条の 2 関係)

消防訓練計画通知書

久米島町消防本部消防長 様				① 〇〇年〇〇月〇〇日	
				② 届出者 (防火管理者) 職 : 〇〇教頭 氏名 : 〇 〇 △ △	
久米島町火災予防規程 (平成 14 年久米島町訓令第 17 号) 第 30 条の 2 の規定により、消防訓練の実施を通知します。					
訓練日時	③ 〇〇年〇〇月〇〇日 〇〇時〇〇分 ~ 〇〇時〇〇分				
事業所名	④ 〇〇小学校		(用途)	⑤ 学 校	
事業所所在地⑥	久米島町字〇〇 □□ 番地		TEL (〇〇〇) 〇〇〇〇		
参加人員⑦	200名	責任者 (職・氏名)	⑧ 〇〇主任 〇〇 △△		
消防職員派遣の要否⑨	要・否 (要にあつては、実施日等について、事前に消防署と打ち合わせを行い実施する事。)				
防火管理に係る消防訓練種別⑩	☒ 総合訓練 (消火、通報及び避難誘導訓練を連携して行う場合)				
	☐ 部分訓練 (☐ 消火訓練 ☐ 避難訓練 ☐ 通報訓練) ※個別で行う場合				
	☐ 基礎訓練 (自衛消防活動の基礎となる規律、個人活動の基礎となる諸動作を身につけさせる訓練をいう。)				
訓練概要⑪	〔例〕 〇〇学校〇〇教室△△階□□室から火災が発生した想定。 火災発生から、初期消火、避難誘導、119番通報訓練を行う。 〇〇に避難完了後、消火器取り扱い訓練を実施。				
※受付欄			※経過欄		
システム登録	年 月 日 氏名 :		指令センター電話		

備考

- 119番に電話がつながった場合、冒頭に「訓練 訓練」の言葉を2回確実に入れること。
- 訓練の種別及び消防職員の派遣の要否欄については、該当するものを○で囲むこと。
- 訓練概要に実施概要が記載しきれない場合は、別紙とすること。
- 訓練種別の□にレのチェックを入れてください。
- この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- ※印の欄は、記入しないこと。

【訓練計画書記入要領】

① 訓練届け出の日付を記入。

② 届出者 基本的には防火管理者が届出者となる。

※防火管理者を選任していない場合は、防火対象物の管理権限を有するものが行う。

③ 訓練日時 訓練を実施する日時を記入する。

※変更がある場合は、電話での変更で構わない。

④ 事業所名 訓練を実施する事業所の名称を記入

〔例〕〇〇学校、□□ホテル、△△株式会社等

⑤ 用 途 事業所の用途、形態を記入

〔例〕学校、ホテル、飲食店、工場等

⑥ 事業所所在地 訓練を実施する所在地住所、電話番号を記入

※電話番号は確実に連絡の取れる番号を記入

⑦ 参加人員 訓練に参加する総人数を記入

※学校においては、職員数と児童生徒数をそれぞれ記入

⑧ 訓練責任者 責任者は防火管理者であるが、訓練責任担当がいれば、その責任担当者で構わない

⑨ 消防職員の派遣 消防職員の派遣については、事前に確認を行い依頼する。

⑩ 訓練種別 実施する訓練項目に☑を入れる。

※119番通報訓練を行う場合は、消防署に事前連絡し実施する事。

⑪ 訓練概要 実施する訓練計画の内容を記入する